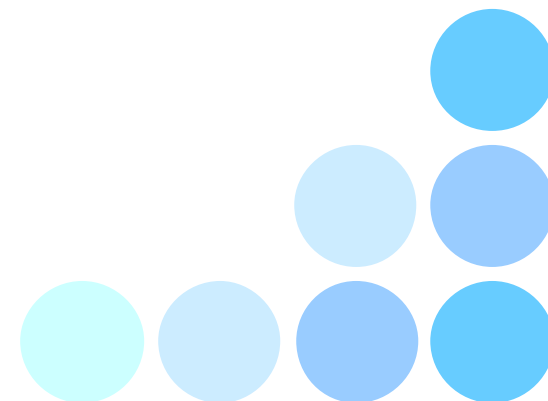




平成21年(2009年)3月期 第2四半期決算 ～投資家様向け説明会～

2008年10月31日
オムロン株式会社



目次

2009年3月期 第2四半期決算

1. エグゼクティブサマリー	P. 4
2. 第2四半期 決算報告	P. 6
3. 通期業績見通し	P.19
4. 中期目標の見通し	P.23

<注意事項>

1. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
2. 業績見通し等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なることがあります。
実際の業績等に影響と与える重要な要因には、(i)当社の事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(ii)当社製品・サービスに対する需要動向、(iii)新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(iv)資金調達環境の大幅な変動、(v)他社との提携・協力関係、(vi)為替・株式市場の動向などがあります。
なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

事業内容、売上高構成等

制御機器／FAシステム(IAB)

(インダストリアルオートメーションビジネス)
 近接／光電／視覚センサ、PLC、温度調節器、
 セーフティ機器、各種検査装置など

車載電装部品(AEC)

(オートモーティブエレクトロニクスコンポーネンツビジネス)
 キーレスエントリーシステム、パワーウィンドウスイッチ、
 車載用リレー、レーザーレーダー、タイヤ空気圧監視システム、
 電動パワーステアリングシステムなど

電子部品(ECB)

(エレクトロニクスコンポーネンツビジネス)
 リレー、スイッチ、コネクタ、液晶バックライト、
 アミューズメント機器用部品、
 モバイル機器搭載部品、光通信部品など

- ・変位・測長センシング
- ・温度コントロール
- ・マシンコントロール
- ・画像センシング

- ・車間距離センシング
- ・電波センシング

- ・流量センシング
- ・音センシング
- ・光コントロール

社会システム(SSB)

(ソーシャルシステムズビジネス)
 自動改札機、自動券売機、
 道路情報提供システム、
 セキュリティマネジメントシステム、
 顔認識システムなど

- ・人センシング
- ・車両センシング
- ・ICカード技術

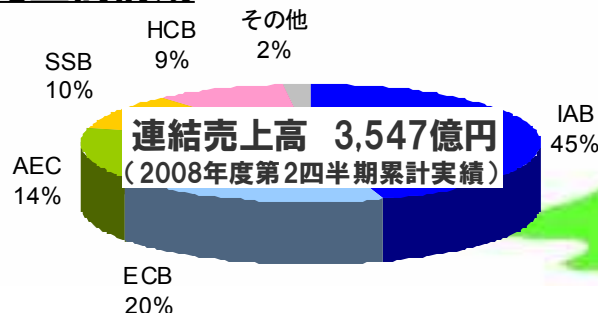
- ・生体情報センシング
- ・行動情報センシング

健康機器(HCB)

(ヘルスケアビジネス)
 電子血圧計、体組成計(体脂肪計)、
 電子体温計、歩数計、ネブライザー、
 動脈硬化検査装置、生体情報モニタなど

センシング & コントロール

売上高構成



連結子会社数等

連結子会社数等	165
持分法適用関連会社数	20

※2008年9月末時点

1. エグゼクティブサマリー

第2四半期（累計） 決算とポイント

■売上、営業利益が前年同期比、計画比ともに下回る

(連結業績)	実績	前年同期比	計画比	
売上高	3,547億円	96.9%	96.4%	
営業利益	186億円	70.0%	93.0%	(営業利益率 5.2%)
税前利益	193億円	70.6%	98.9%	(税前利益率 5.4%)
四半期純利益	124億円	66.1%	103.5%	(四半期純利益率 3.5%)

■連結売上高：前年同期比約3%の減少は、為替影響と国内景気が主要因

計画比約4%未達は、全セグメントの未達が要因

■営業利益：前年同期比約30%の減少は、国内売上減と為替、原材料高騰が
主要因

(詳細は差異分析 P.10参照)

計画比7%の未達は、ECB、AEC、HCBが主要因

(詳細は差異分析 P.11参照)

■税前利益：前年同期比約30%の減少は営業利益減少が主要因

計画比約1%の未達は営業利益の未達が主要因

■純利益：前年同期比約34%の減少は税前利益減少の他、前年度の事業譲渡益が主要因

計画比約4%の増加は実効税率の低下が主要因

2009年3月期 通期業績見通しとポイント

■景気後退と為替を主要因とし、売上、営業利益ともに下方修正

(連結業績見通し)	通期	前期比	計画比	
売上高	7,250億円	95.0%	92.9%	
営業利益	360億円	55.2%	60.0%	(営業利益率 5.0%)
税前利益	330億円	51.4%	55.9%	(税前利益率 4.6%)
当期純利益	205億円	48.4%	56.2%	(当期純利益率 2.8%)

3Q以降の為替レート前提

1米ドル : 95円

1ユーロ : 120円

2. 第2四半期 決算報告

売上高3,547億円 営業利益率5.2%

連結売上、営業利益ともに主として原材料高騰、国内景気低迷の影響を受け計画を下回る
前年比では円高の影響も加わり、営業利益約30%減少

(億円)

全社P/L	2008/3期 2Q 実績	2009/3期 2Q 実績	前年同期比 %	期初計画	計画比 %
売上高	3,661	3,547	96.9%	3,680	96.4%
売上総利益	1,389	1,305	93.9%	1,367	95.5%
販管費	875	868	99.1%	892	97.3%
R&D費	248	251	101.3%	275	91.2%
営業利益	266	186	70.0%	200	93.0%
税引前四半期純利益	273	193	70.6%	195	98.9%
四半期純利益	188	124	66.1%	120	103.5%
<為替>					
USDレート (円)	119.0	105.5	-13.5	100.0	5.5
EURレート (円)	162.1	161.8	-0.3	155.0	6.8

※2008年3月期 2Q実績の税引前四半期純利益は継続事業税引前純利益を適用

国内外ともに前年比で落ち込むが、海外はほぼ計画通りに推移
SSBとHCBを除き、各セグメントは前年を下回り、計画比では全セグメントが未達

(億円)

国内／海外	2008/3期 2Q 実績	2009/3期 2Q 実績	前年同期比 %	期初計画 実績	計画比 %
国内	1,662	1,632	98.2%	1,755	93.0%
海外*	1,999	1,915	95.8%	1,925	99.5%
合計	3,661	3,547	96.9%	3,680	96.4%

*直接貿易は海外に含む

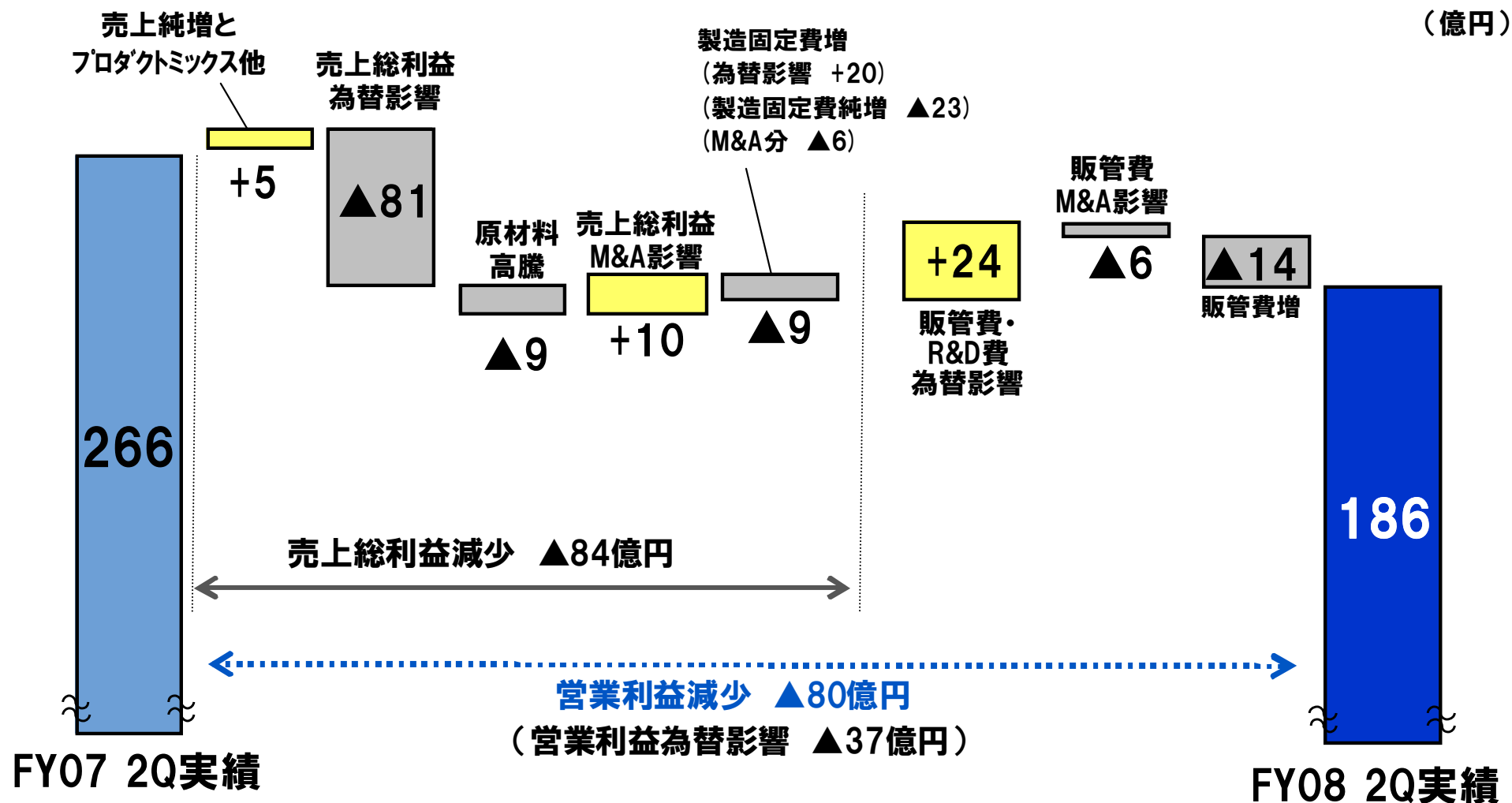
セグメント別	実績	実績	前期比	期初計画	計画比
IAB	1,609	1,584	98.4%	1,659	95.5%
ECB	793	718	90.5%	725	99.1%
AEC	531	503	94.8%	531	94.7%
SSB	330	341	103.4%	354	96.3%
HCB	322	327	101.6%	336	97.2%
その他	76	74	96.3%	76	96.8%
合計	3,661	3,547	96.9%	3,680	96.4%

経費抑制などの効果もありABはほぼ計画通り、SSBは計画比改善、他のセグメントは計画未達

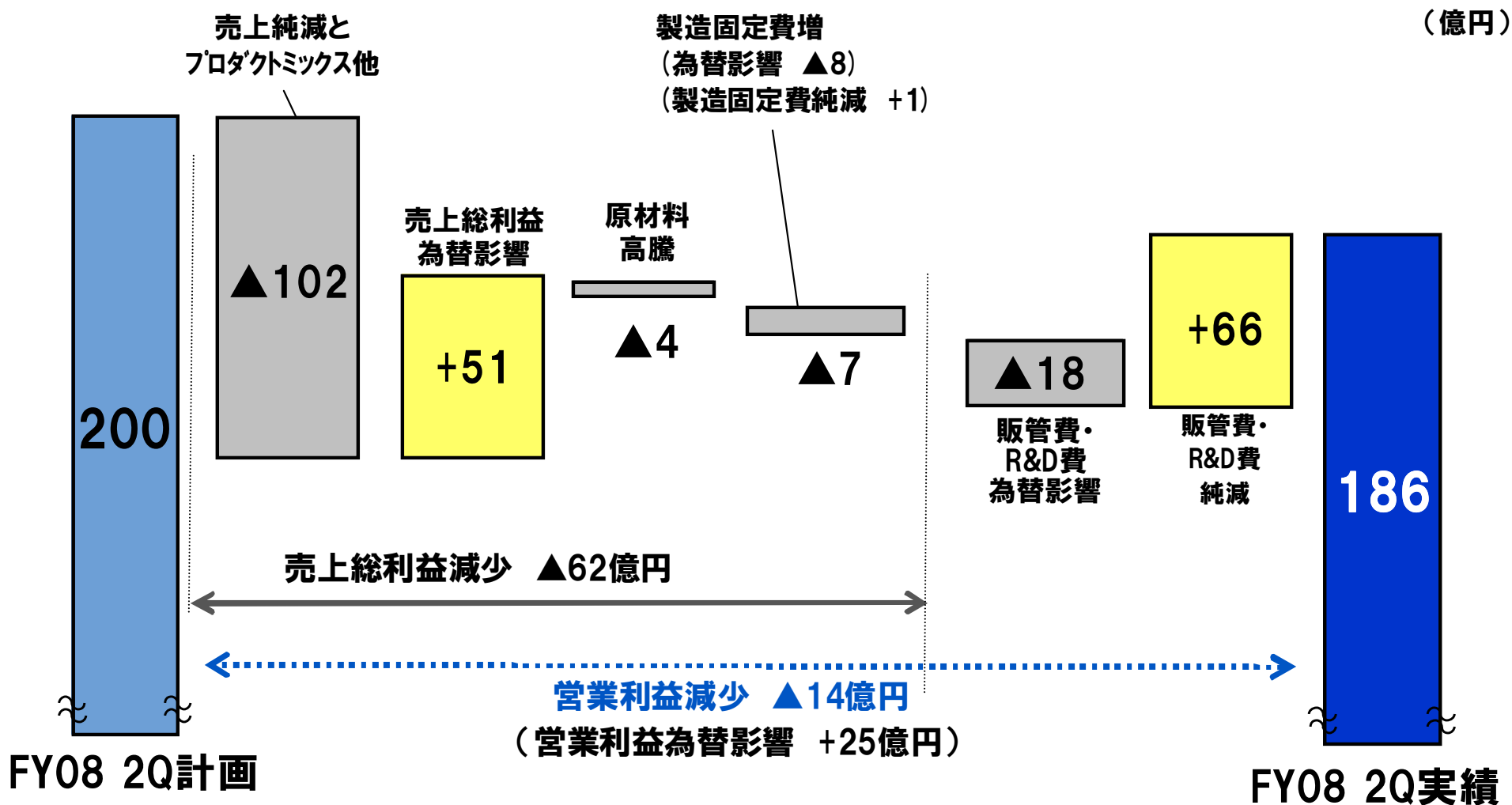
（億円）

セグメント別	08/3期 2Q 実績	09/3期 2Q 実績	前年同期比 %	期初計画	計画比 %
IAB	246	223	90.6%	225	99.2%
ECB	60	23	37.6%	38	60.4%
AEC	5	▲ 15	—	▲ 4	—
SSB	0	▲ 1	—	▲ 4	—
HCB	33	31	94.3%	38	80.0%
その他	2	1	37.9%	▲ 2	—
本社費他消去	▲ 80	▲ 76	—	▲ 91	—
合計	266	186	70.0%	200	93.0%

為替影響および原材料高騰などで前年比減少



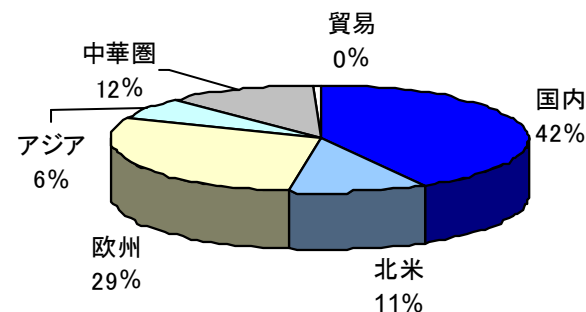
売上減、プロダクトミックス悪化を経費削減で補いきれず計画未達



売上高は前年同期比微減の1,584億円、営業利益率14.1%
海外はほぼ計画通りに堅調に推移するが、国内は低調

IAB	(億円)				
	08/3期 2Q 実績	09/3期 2Q 実績	前期比 %	期初計画	計画比 %
国内	685	662	96.7%	730	90.7%
海外	924	922	99.8%	928	99.4%
北米	190	171	90.5%	152	112.8%
欧州	447	457	102.1%	467	97.8%
アジア	78	102 ※	131.4%	112	91.2%
中華圏	181	185	102.2%	187	99.1%
直接貿易	28	7	23.6%	10	67.2%
合計	1,609	1,584	98.4%	1,658	95.6%
営業利益	246	223	90.6%	225	99.2%
営業利益率	15.3%	14.1%	-1.2pt	13.6%	0.5pt

地域別売上構成

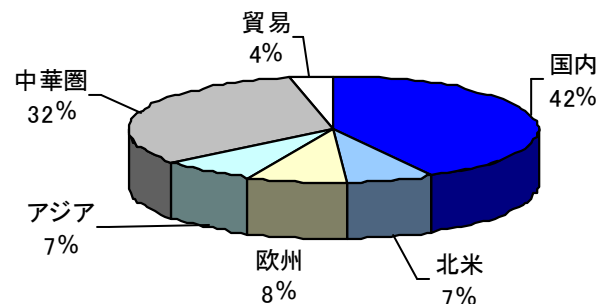


※09/3期より一部を直接貿易から移管

売上高は前年同期比10%減の718億円、営業利益率3.2%
 売上高はほぼ計画通りに推移するも、プロダクトミックス悪化などにより営業利益は大幅に計画未達

ECB	(億円)				
	08/3期 2Q 実績	09/3期 2Q 実績	前期比 %	期初計画	計画比 %
国内	297	301	101.1%	285	105.5%
海外	496	417	84.1%	440	94.8%
北米	55	50	89.6%	45	110.2%
欧州	61	59	95.8%	65	90.5%
アジア	52	53	102.4%	50	106.4%
中華圏	262	231	87.9%	250	92.2%
直接貿易	65	25	38.8%	30	84.0%
合計	793	718	90.5%	725	99.1%
営業利益	60	23	37.6%	38	60.4%
営業利益率	7.6%	3.2%	-4.4pt	5.2%	-2.0pt

地域別売上構成

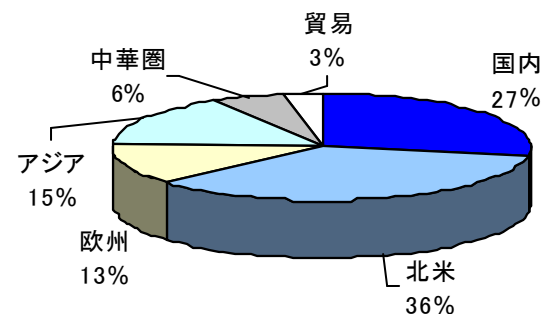


売上高は前年同期比5%減の503億円、営業利益マイナス
 売上、営業利益不振は北米、アジアでの外部環境悪化や為替、原材料高騰、一時費用増などが要因

(億円)

AEC	08/3期 2Q 実績	09/3期 2Q 実績	前期比 %	期初計画	計画比 %
国内	129	138	106.6%	155	89.0%
海外	401	365	91.0%	376	97.1%
北米	223	180	80.7%	185	97.4%
欧州	66	64	97.7%	70	92.0%
アジア	92	77	84.3%	87	89.1%
中華圏	13	28	222.5%	20	139.3%
直接貿易	8	15	193.6%	14	109.7%
合計	531	503	94.8%	531	94.7%
営業利益	5	-15 ※	-	-4	-
営業利益率	1.0%	-	-	-	-

地域別売上構成



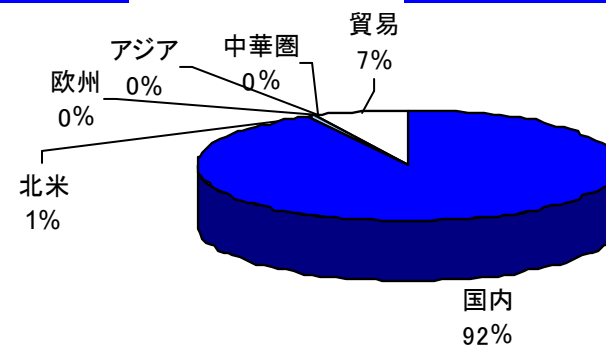
※本社実施の研究開発投資で、09/3期より移管した分を含む

売上高は前年同期比3%増の341億円、営業利益前年並み
 売上の計画未達は期ずれによるもの。営業利益は計画比堅調に推移

(億円)

SSB	08/3期 2Q 実績	09/3期 2Q 実績	前期比 %	期初計画	計画比 %
国内	314	315	100.3%	344	91.4%
海外	16	26	165.6%	10	263.6%
北米	4	2	57.4%	3	69.3%
欧州	0	0	-	0	-
アジア	0	0	-	0	-
中華圏	0	0	-	0	-
直接貿易	12	24	197.2%	7	345.6%
合計	330	341	103.4%	354	96.3%
営業利益	0	-1	-	-4	-
営業利益率	0.1%	-	-	-	-

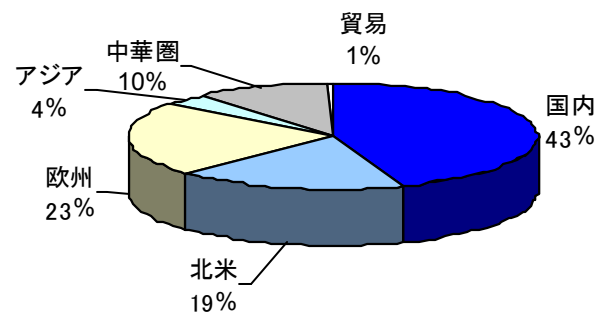
地域別売上構成



売上高は前年同期比2%増の327億円、営業利益率9.4%
 海外の売上は堅調に推移するが、国内売上の低迷により営業利益減少

HCB	(億円)				
	08/3期 2Q 実績	09/3期 2Q 実績	前期比 %	期初計画	計画比 %
国内	161	145	89.7%	167	86.8%
海外	160	182	113.6%	169	107.9%
北米	56	61	108.2%	55	110.6%
欧州	65	74	113.8%	70	105.9%
アジア	10	12	115.0%	10	116.9%
中華圏	26	34	128.7%	30	112.0%
直接貿易	3	2	72.9%	4	50.5%
合計	322	327	101.6%	336	97.2%
営業利益	33	31	94.3%	38	80.0%
営業利益率	10.1%	9.4%	-0.7pt	11.4%	-2.0pt

地域別売上構成



自己資本比率59.1%、ほぼ前期末と同水準で推移

(億円)

連結B/S	2007年9月	2008年3月	2008年9月
(資産の部)	6,205	6,174	6,195
現預金	391	406	415
売上債権	1,511	1,647	1,500
在庫	1,037	951	1,065
その他流動資産	315	297	324
固定資産	1,595	1,527	1,571
投資その他資産	1,357	1,346	1,320
(負債の部)	2,316	2,469	2,514
短期借入金	176	183	240
長期借入金	22	15	12
その他負債	2,188	2,271	2,262
少数株主持分	0	20	20
(資本の部)	3,889	3,685	3,661

財務活動によるキャッシュフローは、短期借入金増加などにより前期比約140億円の支出減

連結CF	(億円)		
	2007年9月	2008年9月	(参考) 2008年3月
営業活動によるキャッシュフロー	321	280	690
投資活動によるキャッシュフロー	▲193	▲208	▲367
FCF	128	72	323
財務活動によるキャッシュフロー	▲179	▲38	▲345
換算レート変動の影響	11	▲26	▲2
期中の現金増減額	▲39	8	▲24
期末の現金残高	391	415	406

3. 通期業績見通し

急激な円高、事業外部環境悪化等より通期業績見通しを下方修正
(3Q以降の為替レート前提 1米ドル95円、1ユーロ120円)

(億円)

	08/3期 通期 実績	09/3期 通期 見通し	前年比 %	09/3期 通期 期初計画	計画比 %
売上高	7,630	7,250	95.0%	7800	92.9%
売上総利益	2,933	2,625	89.5%	3005	87.4%
販管費	1,766	1,735	98.3%	1835	94.5%
R&D費	515	530	102.9%	570	93.0%
営業利益	653	360	55.2%	600	60.0%
税前利益	642	330	51.4%	590	55.9%
当期純利益	424	205	48.4%	365	56.2%
EPS(円)	185.89	92.87	50.0%	164.65	56.4%

急激な円高、事業外部環境悪化等より通期業績見通しを下方修正
(3Q以降の為替レート前提 1米ドル95円、1ユーロ120円)

(億円)

国内／海外	2008/3期 通期 実績	2009/3期 通期 見通し	前年同期比 %	期初計画 実績	計画比 %
国内	3,659	3,553	97.1%	3,850	92.3%
海外*	3,971	3,697	93.1%	3,950	93.6%
合計	7,630	7,250	95.0%	7,800	92.9%

*直接貿易は海外に含む

セグメント別	実績	見通し	前期比	期初計画	計画比
IAB	3,288	3,080	93.7%	3,375	91.3%
ECB	1,542	1,440	93.4%	1,545	93.2%
AEC	1,075	990	92.1%	1,085	91.2%
SSB	852	900	105.6%	900	100.0%
HCB	716	690	96.4%	740	93.2%
その他	157	150	95.9%	155	96.8%
合計	7,630	7,250	95.0%	7,800	92.9%

急激な円高、事業外部環境悪化等より通期業績見通しを下方修正
 （3Q以降の為替レート前提 1米ドル95円、1ユーロ120円）

（億円）

セグメント別	08/3期 通期 実績	09/3期 通期 見通し	前年同期比 %	期初計画	計画比 %
IAB	519	385	74.1%	500	77.0%
ECB	126	55	43.5%	115	47.8%
AEC	14	▲ 40	-	5	-
SSB	70	80	113.6%	80	100.0%
HCB	94	65	69.1%	95	68.4%
その他	1	0	-	0	-
本社費他消去	▲ 171	▲ 185	-	▲ 195	-
合計	653	360	55.2%	600	60.0%

4. 中期目標の見通し

2008年度～2010年度をGD2010の第3ステージとし、2008年1月に中期目標を発表

<第3ステージ中期目標>

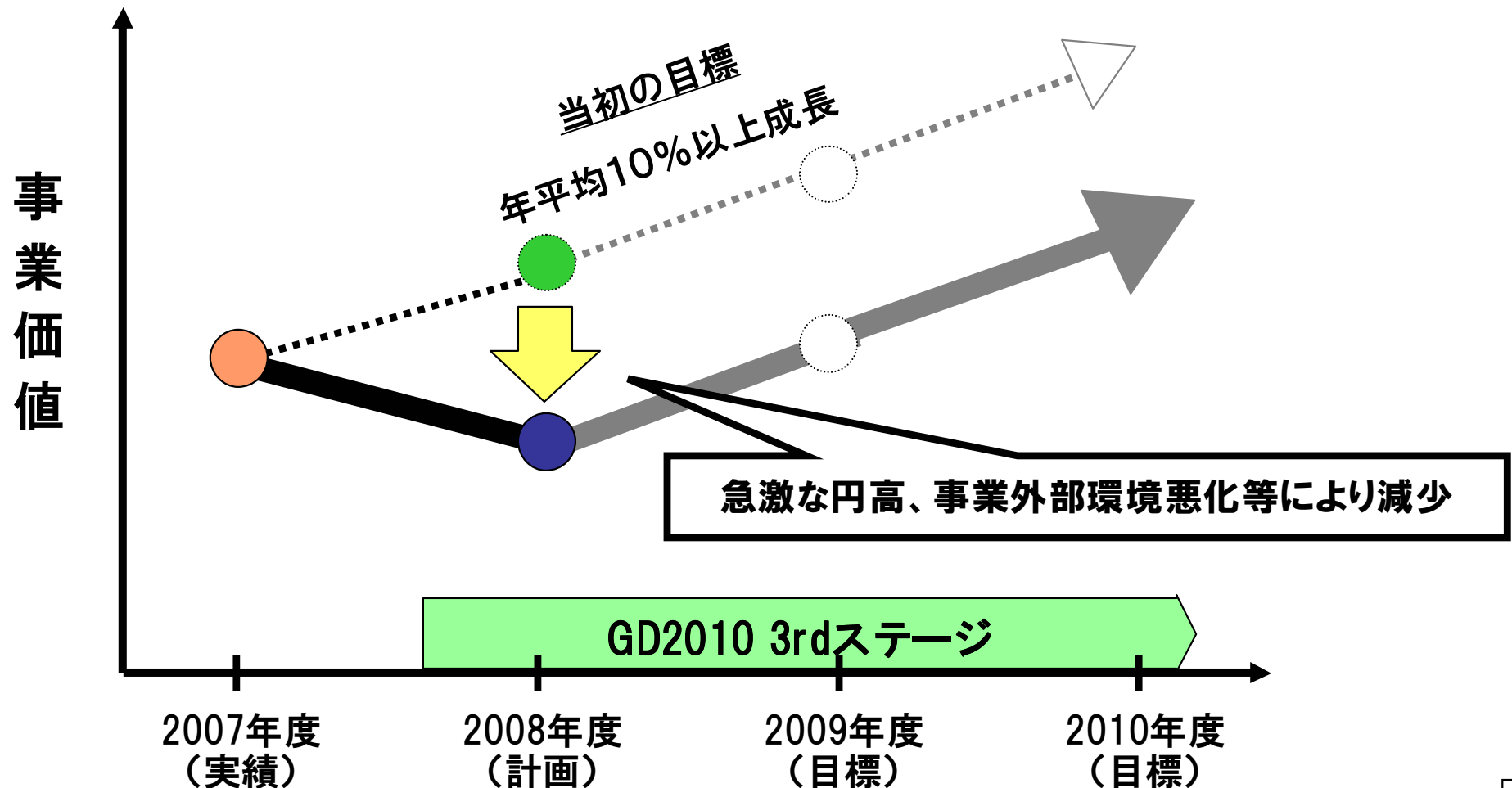
事業価値の年平均10%以上向上

運営指標

投資収益性	:	ROIC	12%以上
売上収益性	:	ROS	10%以上
資本効率性	:	投下資本回転率	10%改善

2008年度は外部環境の激変により事業価値成長は望めない
2009年度以降に当初の中期目標を達成すべく、計画変更を検討する

<事業価値の成長イメージ>



2009年度以降に当初の目標である「事業価値の年平均10%以上の成長」を目指し、
前提条件の変更と収益構造改革等を検討する

<前提条件>

- ・為替の円高や事業環境悪化により、2008年度は当初予想以上に業績が落ち込む
- ・GD2010 第3ステージ残り期間は、経済成長は見込めないと想定する
- ・現行の為替円高傾向は今後も続くと想定する

<検討内容>

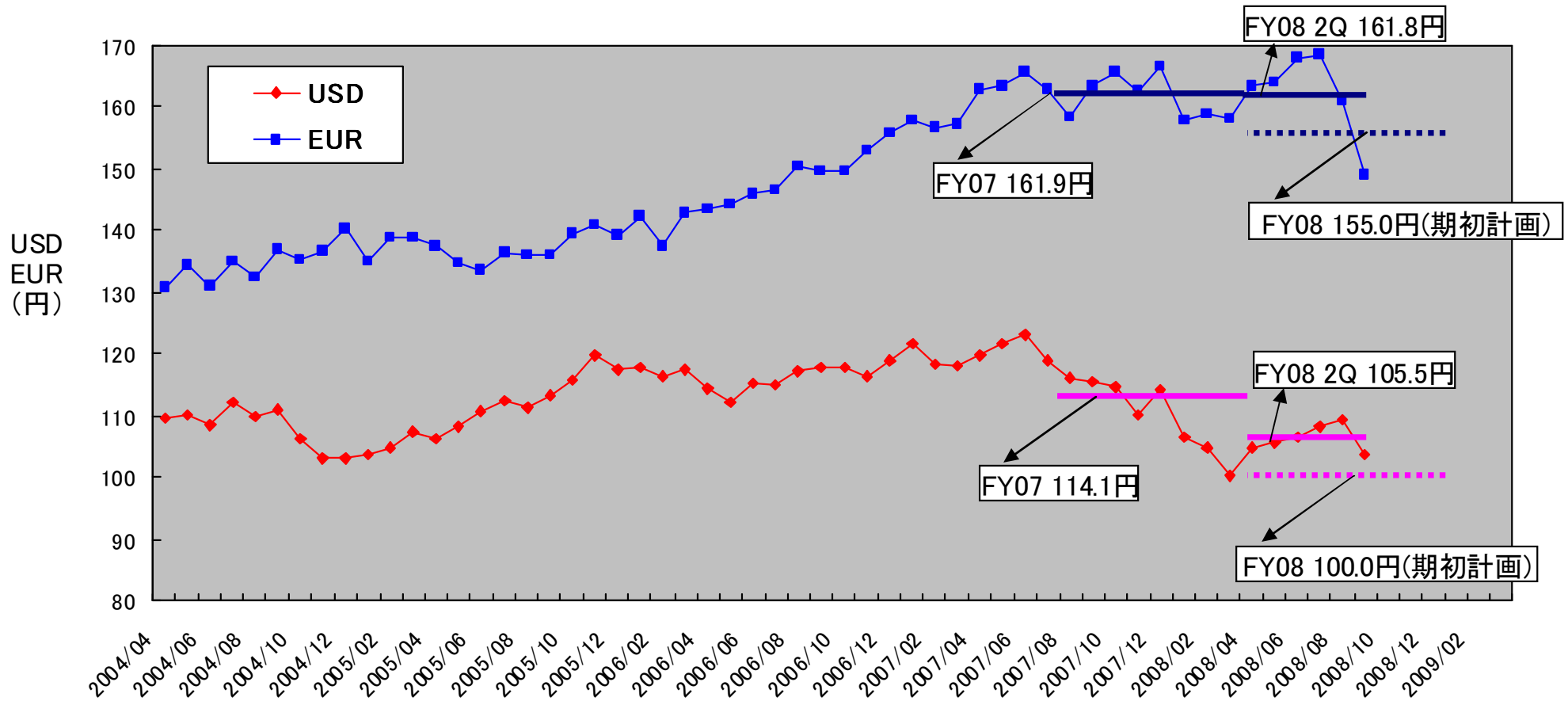
以下の3つの「選択と集中」による全社的な収益構造改革を実行する

- ①事業
- ②機能
- ③拠点、組織

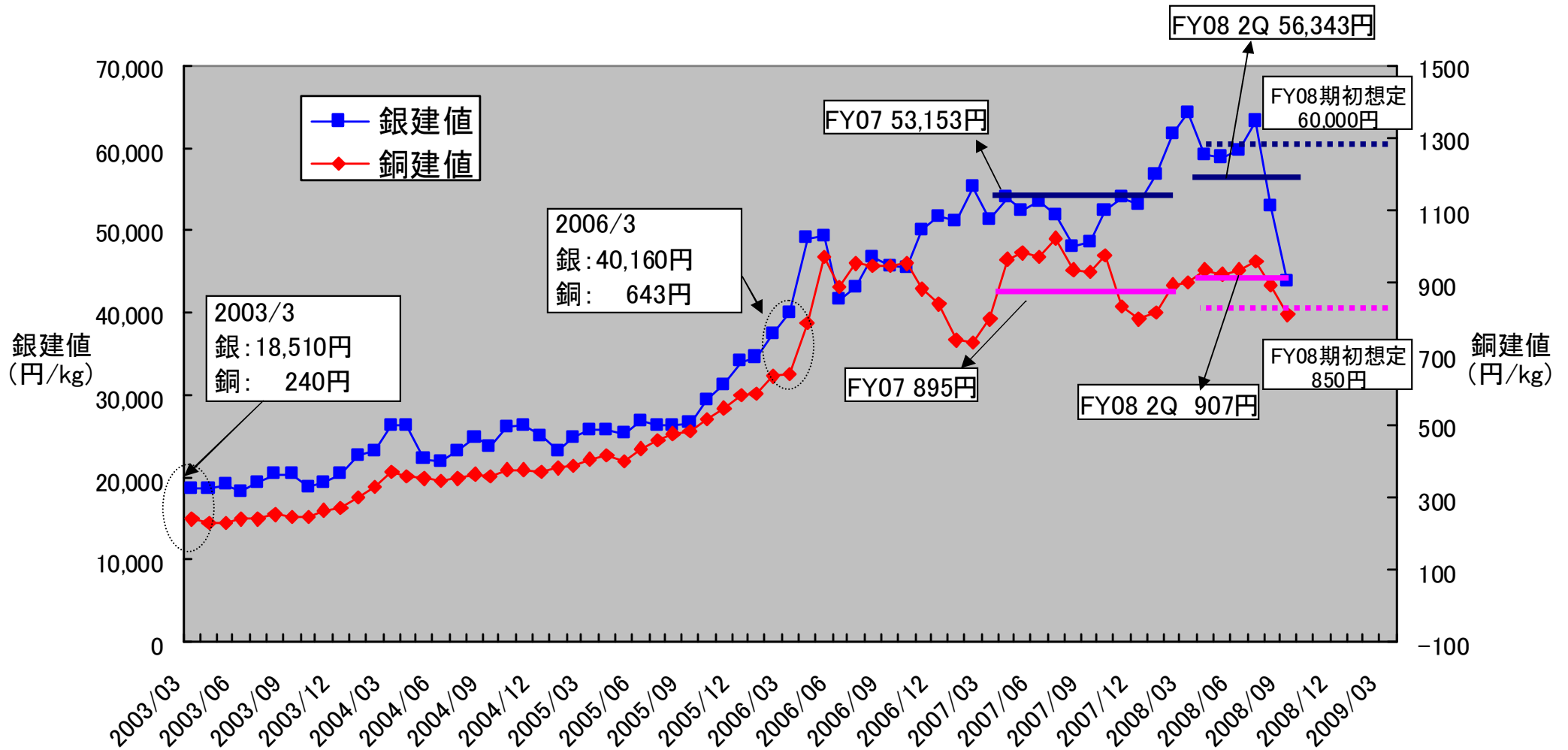
（参考情報）

- 為替の動向
- 原材料価格の動向

ドル、ユーロとも2Q後半にかけて下落するも、2Q累計では計画に対し高水準での推移



銀、銅とも2Q後半にかけて下落傾向だが、銅は2Q累計では計画に対し高水準での推移





センシング & コントロール技術で 「安心をカタチに」



＜お問い合わせ＞

オムロン株式会社

グループ戦略室 経営IR部

電話 : 03-3436-7170

E-mail : omron_ir@omron.co.jp

HPアドレス : www.omron.co.jp

